

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共溝渠維持補修				整理番号	636		枝番号				
担当部課名		都市整備部維持課		コード			連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	664		
係名 工務係					上位施策名					No			
予算事業名 公共溝渠維持補修					コード	60300		環境美化の推進				15	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 22 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法 第281条2項								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 公共溝渠(主に蓋掛けの水路)の利用者及び近隣の住民。				(2)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 公共溝渠のしゅんせつや土揚敷の除草を行う。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 公共溝渠の排水機能を保全し、悪臭や蚊の発生の防止に努め適正な維持管理を図る。								
	活動指標名(式) (1) 維持管理面積 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 維持補修対応率 (2)								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		m ²	19,967		19,967		19,967	19,967	19,967			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	100		100		100	100	100			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,567		2,514		2,528	2,478	2,528		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	2,567		2,514		2,528	2,478	2,528			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.07		0.08		0.08		0.08			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	630		720		720	720	720			
		非常勤職員分	千円	0		0		0	0	0			
	総事業費 + +		千円	3,197		3,234		3,248	3,198	3,248			
	単位あたりコスト ÷		円	160		162		163	160	163			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	3,197		3,234		3,248	3,198	3,248				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		100.0		活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%		98.0		
			維持補修計画どおり実施できた。										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			昨年同様、水路のあり方検討会のなかで検討中である。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年々、公共下水道を敷設し道路化されてきているが、未だに蓋掛け水路や開渠部分が残されている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	蚊の発生、悪臭などの苦情がある。
	今後の予測	公共溝渠は、公共下水道の敷設に活用されず残されたものであり、今後、水のみち(水路敷を埋め立てた歩行者専用道)として活用できるものは埋め立てを進め、整備を進める必要がある。また、地方分権一括法の施行により区に財産が譲与され、境界を明確にし公共用地の保全を図ることが急務となったため、事業の重要性は増大する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 公共溝渠の排水機能を維持保全し、悪臭や蚊の発生の防止をするためには、適切に維持管理することが必要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 公共溝渠管理委託
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 現在の事業規模は最低レベルの維持管理であり、今後、暗渠化・埋め立てを含め検討している。この事業を進めていく上では事業費の増加がない限り成果の向上は望めない。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性格上、受益者負担は考えられない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 定期的に工法及びコスト縮減に検討を重ね、改善に努めている。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本事業は、公共溝渠の埋め立てが進まない限り必要不可欠である。また、現在の事業規模は最低レベルの維持管理であり、縮小できる余地はない。現在水路のあり方検討会で暗渠化・埋め立てを含めて今後の方向について検討しており、その結果を見極め対応していきたい。
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 暗渠化・埋め立てを図るためには、不法占用の是正が不可欠である。早期に境界を明確化し適正な用地確保を行うことが必要
	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		クリーン大作戦				整理番号	688		枝番号		
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	724
係名		庶務係				上位施策名			No		
予算事業名		環境保全の推進		コード	65900		環境美化の推進			15	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				12 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)						
	区内の公共の場及び公共施設等				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 秋期の1週間を中心に、自発的に参加する区内の団体・事業者・区民が、区内の公共の場・公共施設等を清掃することを支援する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内の公共の場、公共施設等のごみを収集し、落書きを消すなど、区内全域をクリーンな状態にする。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 参加団体数				(1) 不法投棄粗大ごみ処理件数							
(2) 参加人数				(2) 空き缶等の散乱状況調査(中杉通り) 毎年3月中の1日を調査							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	団体	115	157	170	183	190				
	活動指標(2)	人	10,105	11,421	13,000	11,464	13,000				
	成果指標(1)	件	3,790	2,723	2,500	3,424	2,500				
	成果指標(2)	点	1,921	2,549	2,000	402	350				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,941	1,499	1,500	1,387	1,500	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,349	1,349	1,349	1,349	1,349			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	3,290	2,848	2,849	2,736	2,849			
	単位あたりコスト ÷		円	28,609	18,140	16,759	14,951	14,995			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	3,290	2,848	2,849	2,736	2,849				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	107.6		活動指標(2)の15年度達成率%	88.2		15年度予算執行率%	92.5		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		課内における事務局体制を確立しつつ、データ整備用のソフトウェアを購入したことにより迅速な事務処理が図れた。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年々参加者は増加し、平成15年度は11、464名、157団体を数えるまでになっている。今では、区民・事業者・行政の中に、秋期に実施する行事として定着している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	毎年参加者からは、「概ね好評」の声が届いている。ただし、年一回のみのイベントとしてではなく、複数回もしくは継続した実施を望む意見も多い。また、執行体制については、区役所が事務局の役割を担うことを望む声がある。
	今後の予測	当面、環境課が事務局を担い、実施団体等から提案された各企画の調整を行いながら実施することで、まちのクリーン運動の輪を広げ、環境からのまちづくりのきっかけにすることができる。将来的には、クリーン大作戦の定着具合や環境配慮行動につながる意識の変化の具合をみて、廃止もしくはNPOへの協働を検討する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：杉並区生活安全及び環境美化に関する条例(以下「条例」という。)の浸透を図り、地域の愛着心を育むことにより、地域環境の美化意識の醸成が可能となるとともに、環境からのまちづくりに寄与できる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由：区民・事業者の環境配慮行動が定着し、自らの手で地域の清掃を行うような状況になれば、NPOが主体となり事業を展開することが望ましい。
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由：現状では協働等は実現していないが、近い将来、杉並環境ネットワーク等の環境NPOが主体となり事業を展開する可能性がある。区は ごみの無料収集 人件費・資材購入費・事務費等の補助で支援していく。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容：環境配慮行動を理解し、実践する区民や事業者が増えるほど参加団体や参加人数は増えることになる。従来、各団体への呼びかけや広報紙、パブリシティ、ホームページなどで周知してきたが、今後は学校・事業所も含めPRしていく。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：ごみ袋・軍手・腕章などのごみ収集資材については希望数量を配布してきたが、平成17年度からはごみ袋のみの配布に変更する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容：ごみ袋・軍手・腕章など、資材については希望数量を配布してきたが、平成17年度からはごみ袋のみの配布に変更する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： ○増 ○現状維持 ●減	成果： ●増 ○現状維持 ○減	協働等： ○実施継続 ●推進 ○行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 幅広い区内団体(学校・事業者含む)への参加呼びかけをきめ細かに行うことで、より多くの区民の参加を促すことができる。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当面の課題：現状での事業者・区民の意識はまだ大量生産・大量消費の枠を抜けきれていない。大部分の区内事業者が日常的に清掃を実施すること、区民が住んでいる地域を自ら日常的に清掃することができるまで、クリーン大作戦を通して確実に意識の変革を図ることが重要である。このような意識の変革を通して、将来的にはクリーン大作戦という区内一斉清掃が、事業者・区民による日常的な清掃へ移行できる。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	○大幅増 ○増 ○増減なし ●減 ○大幅減 ○予算なし	
	(2) 理由 より多くの事業者・団体・区民が参加することが当該事業の成果につながるため、限られた予算の中できめ細かいPR方法や参加しやすい雰囲気づくりを工夫する。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あき地等の管理指導				整理番号	689		枝番号				
担当部課名 環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	726				
係名 生活環境担当					上位施策名					No			
予算事業名 環境保全の推進					コード	65900		環境美化の推進			15		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				54 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 土地・建物の所有者及び管理者				(2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) あき地等の雑草等の除去についての要望・苦情を受け、所有者・管理者に対し適正な管理について指導する。				(3) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則 杉並区あき地等の管理の適正化に関する指導要綱								
	活動指標名(式) (1) 要望・苦情の受付数 (2) 除草機具の貸出数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) あき地等の適正管理に努め、地域の生活環境を適正に保つ。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 適正管理処置率 = 適正管理数 ÷ あき地数 (2)								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		件	92	93	95	82	95					
	活動指標(2)		件	20	10	15	13	15					
	成果指標(1)		%	78	81	83	72	85					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41	0	73	13	73	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.65 0.20	0.65 0.30	0.95 0.35	0.95 0.30	0.90 0.35					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,846	5,846	8,544	8,544					8,095
		非常勤職員分		千円	552	828	966	828					966
	総事業費 + +		千円	6,439	6,674	9,583	9,385	9,134					
	単位あたりコスト ÷		円	69,989	71,763	100,874	114,451	96,147					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	6,439	6,674	9,583	9,385	9,134						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	86.3	活動指標(2)の15年度達成率%	86.7	15年度予算執行率%	17.8	適正管理の指導に対して対応をしない案件がある。こうしたケースについては、継続して要請している。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			改善指導に応じない事案においても、継続して粘り強く指導をおこなっている。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	美化条例の施行及び安全美化条例への改正施行で、あき地の適正管理に加えて、対象が土地・建物全般に広がるなど事業の範囲が拡大している。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	私有地へのごみの不法投棄や放置などについて対処を望む要望がある。区では対応困難なケースも多々ある。	
	今後の予測	近年、都市化・宅地開発が進んだことなどから近隣の関係が希薄となってきたこと、地域の美化意識が高まっていること、雑草の種子などに敏感に反応を示す人などがいることから、今後も対応件数は増えていくと予測できる。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)		理由：基礎的自治体の基本的な仕事であり、地域の生活環境を快適に維持していくためにも必要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)		理由：雑草繁茂等の放置は害虫の発生、犯罪発生のおそれ、また、枯草については火災のおそれもあり、消防等他の機関と連携して、区が実施する必要がある。
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由)		理由または具体的内容：個人の財産権の問題もあり、当面協働は困難である。
	協働等の相手		
	協働等の主な形態		
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)		理由または具体的内容：指導に対して対応しないケースについては、継続して要請していく。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容：私有地があき地となった場合、環境保全のための措置を講ずるのは、区の仕事であって、周辺区民に経費負担を求めるのは適当でない。ただし、除草等の管理経費は所有者・管理者が負担している。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由：所有者の調査、指導は、区が行うことで実効性が確保されており、委託にはなじまない。現行の方法に代わる手法は見出しがたい。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 よりきめ細かな調査と指導を行っていく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	安全美化条例の一部改正により、委託及び行政代執行を規定したことにより、委託費用及び代執行経費が増となる。ただし、委託費用は所有者又は管理者の支払いを受け、代執行経費は義務者から徴収する。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活環境の整備				整理番号	690		枝番号	
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107	連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	
係名		生活環境担当			上位施策名				No	
予算事業名		生活環境の整備		コード	65950	環境美化の推進			15	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、区内滞在者、区内通過者、区内事業者				(2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 路上禁煙地区で環境美化パトロールを実施し、違反者に対する指導を行う。 区内全域での歩きたばこや吸い殻・空き缶のポイ捨てをなくしていくよう、条例の周知、普及・啓発を行う。				(3) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則					
	活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
(1) 路上禁煙地区数				路上禁煙地区を中心に、歩行喫煙者をなくす。 吸い殻や空き缶のポイ捨てをなくし、きれいなまちを実現する。						
(2) 路上禁煙地区の1日あたり指導数の平均				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
				(1) 吸い殻数 = (中杉通り + 高南通り)の1日当たりの平均						
				(2)						
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	箇所			4	4	6			
	活動指標(2)				300	318	100			
	成果指標(1)	本			300	359	250			
	成果指標(2)	回								
総事業費・コスト把握	事業費		千円			47,148	40,798	32,503	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円			15,056	12,379	430		
	職員数(正規 非常勤)		人			3.00 0.20	3.00 0.20	2.00 0.20		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	26,982	26,982	17,988		
		非常勤職員分	千円	0	0	552	552	552		
	総事業費 + +		千円	0	0	74,682	68,332	51,043		
	単位あたりコスト ÷		円			18,670,500	17,083,000	8,507,167		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	74,682	68,332	51,043			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	106.0	15年度予算執行率%	86.5	路上禁煙地区に設置予定の掲示板が予定数設置できなかった。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		15年度からの新規事業								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度の安全美化条例への全面改正により、10月の条例施行と同時に路上禁煙地区を指定する。16年2月には追加指定を行い、JR4駅周辺を路上禁煙地区とする。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	路上禁煙地区では、歩きタバコや吸い殻のポイ捨ては激減したが、禁煙地区の周辺地域では逆に増えたという意見もある。 また、路上禁煙地区以外では、一向に改善されていないという意見もある。
	今後の予測	路上禁煙地区の追加指定
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由：環境美化及び分煙化施策に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由：
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容：学識経験者、防犯協会、町会、商店会、公募区民、警察、消防等で組織された杉並区生活安全協議会で、路上禁煙地区等の運用について協議していく。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 実行委員会・協議会(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容：条例の周知、啓発方法等の検討を行う。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容：罰則適用については、条例施行の効果をみて、判断する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容：条例の周知、啓発方法等の検討を行う。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 路上禁煙地区指定後数年を目途に、パトロール体制の見直しを行う。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	路上禁煙地区のパトロールは今年度まで緊急地域雇用対策事業費により対応していたが、今年度までで終了予定のため、パトロール経費が必要となる。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		カラス被害対策				整理番号	708		枝番号						
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	747				
係名		生活環境担当				上位施策名			No						
予算事業名		各種・防除指導		コード	66350		環境美化の推進			15					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民				(2) 杉並区ねずみ・こん虫・有害鳥獣等の防除指導要綱										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) カラス110番を開設し、区民からの相談を受け、特に4~6月の繁殖期には、人に危害を加えるカラスがいる。このような場所での巣の撤去を直営及び委託で行っている。				(3)										
	活動指標名(式) (1) カラス対応での出動件数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 巣を撤去することによって、安全な生活環境を整える。										
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1)											
				(2)											
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
							計画	実績		計画	年度				
指標	活動指標(1)		件			302		300		224		300			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%												
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円			3,362		4,284		1,706		4,462		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円			3,362		4,284		1,706		4,462			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.90	0.80	0.90	0.80	0.90	0.80	0.90	0.80		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0		8,095		8,095		8,095		8,095		
		非常勤職員分		千円	0		2,207		2,207		2,207		2,207		
	総事業費 ++		千円	0		13,664		14,586		12,008		14,764			
	単位あたりコスト ÷		円			45,245		48,620		53,607		49,213			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	0		13,664		14,586		12,008		14,764				
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		74.7		活動指標(2)の15年度達成率%				15年度予算執行率%		39.8		
			苦情・要望件数は、年度により増減する。												
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			カラス110番を開設したことに伴い、出動件数が増える傾向である。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	数年前からカラスによる被害の相談件数が増え、平成14年度からカラス110番を開設した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	カラスの苦情や要望も繁殖期を中心に多く、かつ増加してきている。
	今後の予測	今後は、カラスの生息数は減少しているものの、生息区域と区民の生活領域は重なっており、苦情や要望はますます増えるものとする
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由：カラスが人に危害を加えることに伴う、危険防止する必要がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由：個人の財産権の保護、サービスのスピードの観点から、当面は行政が主体となり、業者が補完する形が望ましい。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容：区民からの要望により、実地調査の結果、直営で実施可能なところは直営で実施し、直営実施ができない箇所について委託する。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容：区民要望に基づくものであり、成果になじまない。
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容：個人の管理・所有する樹木の営業は、個人の管理責任という考え方もできるが、個人の責に帰すべき理由でなく自然現象に近い事柄であることから、慎重に実施する必要がある。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容：全面業者委託により実施する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 繁殖期に苦情が多く寄せられるカラスの営業について、平成14年度に総合的なカラス対策の一環として拡充した。直営と委託で実施しているところを全面委託する可能性を検討する。					
17年度方針	(2) 理由 平成16年度で東京都実施の巣の撤去事業が終了するため、高所作業分を手当てする必要がある、これを含んだ都が実施した件数が増となる可能性がある。					
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減